令和7年度決算議案に対する 各会派の意見・要望等及び討論

令和7年度一般会計及び各特別会計決算は、議長を除く全議員により構成される決算特別委員会（委員長　酒井妙子、副委員長　島田拓）において、慎重かつ厳正に審査が行われました。
各会派から出された意見・要望等及び討論の要旨は、次のとおりです。

決算の成果を、さらなる区政の充実へ！

練馬区議会自由民主党（14人）

令和7年度練馬区一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算の認定に賛成。

物価・人件費の上昇、人手不足、不安定な国際情勢で、区民生活と地域経済は大きく変化した。高市内閣の「責任ある積極財政」を踏まえ、物価高対策と成長への投資を進め、財政の持続可能性を確保することが重要だ。

令和7年度は前川区政12年間の最終年度。「第3次みどりの風吹くまちビジョン」に基づく福祉・医療、子育て・教育、都市インフラの施策を進め、5度の補正予算で区民生活と地域経済を支えたことを評価する。区民サービスの充実、基金の積立て、起債残高の抑制等、将来を見据えた財政運営も評価する。

一方、歳出規模は過去最大となった。社会保障関係経費の増加や公共施設の更新、都市インフラ整備に多額の財源を要する。歳入も景気に左右されるため、事務事業の見直しと、国・都の特定財源や区有資産、寄附等の活用で、「稼ぐ力」の向上を求める。ふるさと納税による区税流出に対応し、寄附文化を育み、自主財源の確保に努められたい。

同時に、必要な社会資本整備や、将来の区民生活を支える施策には、基金や起債も適切に活用し、未来への投資を着実に進められたい。

新たな区政においても、75万区民の命と暮らしを第一に、持続可能な行財政運営を求める。区民や約60団体から伺った声を次年度予算に反映し、安心して暮らせる練馬へ、我が会派も全力を尽くす。

【総務費】①「地球の歩き方」練馬区版で80周年事業や区の魅力発信を。②災害時の物資輸送体制の強化を。③公契約条例は先行区研究と関係者からの慎重な意見聴取を。④産業医安定確保のための処遇改善を。**【区民費・地域文化費】**①美術館・図書館再整備は契約解除に伴う負担額の公表を。現況調査・長期費用を踏まえた改修・改築等の検討と必要な修繕を。②自衛官募集への理解・協力を。退職自衛官の防災部門等への登用を。③練馬総合運動場公園の夜間照明整備の検討と隣接の少年野球場の早期改修・整備を。④火葬助成の周知と、都・23区連携による火葬場の指導強化、体制整備を。⑤町会・自治会の加入促進と若い担い手確保を。**【産業経済費・環境費】**①キャッシュレス決済ポイント還元事業の早期実施・複数決済対応と、デジタル地域通貨の検討を。②公設喫煙所整備による喫煙環境向上を。③資源回収の増車、回収拠点の見直し、委託料適正化と熱中症対策支援の継続を。④こどもの森の拡張整備完遂と、安全性を確保した魅力あるツリーハウス整備を。⑤経営課題や返済負担を踏まえた中小企業支援充実を。⑥農業体験等で住民の理解を広げ、将来にわたって営農を続けられる環境整備を。⑦アニメプロジェクトin大泉の案内・待ち時間等の対策を支援し、商店会負担軽減を。**【保健福祉費・介護保険会計】**①外国人介護人材の就職マッチング支援事業の参加事業者拡充を。②就職氷河期世代の相談支援連携と中間的就労先の開拓を。③三原台の地域生活支援拠点整備を待たず、重症心身障害者の受入れ体制の早期整備を。④がん検診で要精密検査となった方への受診勧奨を。⑤四師会共通の「災害医療救護者証」の実現を。⑥交付金・基金を活用した介護保険料の上昇抑制を。⑦社会福祉法等改正に対応した介護・福祉の体制整備を。**【都市整備費・土木費】**①都営南田中団地建て替えを契機に練馬高野台駅周辺のよりよいまちづくりを。②アンダーパスの事前通行規制・バルーン遮断機等による冠水事故防止を。③道路構造変更や沿道住宅への影響発生時は住民・区議会への周知・説明を。④都への大江戸線延伸の働きかけと新駅のにぎわいづくりを。⑤放射7号線代替地等の都との密接な連携による早期情報把握を。**【教育費】**①豊渓中統合再編を検証し、学校適正配置への反映を。地域とともに跡施設活用の検討を。②食材購入単価の把握・検証による給食の質向上と、日本一の学校給食を目指し取組を。③別室登校充実による不登校支援を。④教職員対象の救助袋訓練を。訓練体制と訓練に要する予算の増額を。**【こども家庭費】**①保育需要を精査し、0～2歳児中心の待機児童対策を。②学校施設開放の共通ルール整備と、予約システムの導入を。③子育てスタート応援券の電子化を契機に制度充実を。④私立保育園の人材紹介手数料負担軽減と、国の新制度を活用した人材確保を。⑧美術館再整備への地域の期待を今後につなげよ。⑨やまなみ公園は子どもの利用も可能に。⑩都やJAと連携し農地保全の取組を。⑪ねりまファミリーパックの対象者とサービス拡充を。⑫喫煙実態に即した条例改正等、対策見直しを。⑬キャッシュレスポイント還元事業は複数決済に。物価高対策は家計負担軽減と中小企業・商店街支援を分けて実施を。⑭アニメ産業の課題の把握と連携強化を。⑮産後ケアは施設数拡大と切れ目ない支援を。⑯成年後見制度利用支援の強化を。⑰介護人材確保に向け幅広い世代への広報を。⑱介護資格取得から就労まで一体的な支援を。⑲災害時に障害者へ確実な情報伝達を。⑳介護業界のイメージアップに向けた情報発信を。㉑次期練馬区障害者計画で手話施策の充実を。㉒失語症者への支援に向け実態把握を。㉓移動支援の報酬単価等への独自支援を。㉔シェアサイクル社会実験終了後の占用料の在り方検討を。㉕自動運転の社会実験を。㉖都と連携した水害対策を。㉗一般緊急輸送道路の沿道耐震化率向上を。㉘平成つつじ公園の早期完成を。㉙練馬城址公園外周道路の拡幅に向け引き続き都と協議を。㉚校外プール授業は移動を考慮した時間設定を。㉛不登校対策は本人に合った支援を。㉜区立幼稚園の要配慮児の受入れ体制強化、職員の専門性向上、私立園との連携による幼児教育の充実を。㉝臨時的任用教員の質の確保とウェルビーイング教育の研修を。㉞第1子保育料無償化による需要分析、みなし保育士の効果検証と人材紹介手数料補助の検討を。㉟待機児童解消に向け時限的な公設保育所設置を含め検討を。㊱子育て施設の設置は利用者の移動に配慮を。㊲児童館以外の中高生の居場所の充実を。㊳幼保小連携強化に向け子ども一人一人の記録の引継ぎを。

未来に責任！安心・安全な練馬を目指して。

練馬区議会公明党（7人）

令和7年度練馬区一般会計並びに3特別会計の歳入歳出決算額を認定し賛成。我が会派の提案・要望に対し着実に取り組まれたことを評価。**【総務費】**①入札不調対策として見積り期間の延長を。②公契約条例検討は適宜報告を。③水害ハザードマップの更新と周知を。④GovTech※1東京と連携し人材育成とDX推進を。⑤都の女性活躍推進条例を周知し職場環境整備を。**【区民費・地域文化費】**①デジタル庁開発のPMH※2活用でマイナ連携推進を。②新たな公共予約システムの周知と利便性向上を。③収納率の向上と生活に困った方への支援を。④特定健診・特定保健指導の受診率向上へ効果的な勧奨を。**【産業経済費・環境費】**①カーボンニュートラル化設備設置等補助対象拡充を。②可燃ごみ減量に向け情報発信を。③粗大ごみ収集にDX活用を。④農業に生分解性プラスチックの積極的な活用を。⑤商店街空き店舗関連補助事業の整理を。**【保健福祉費】**①ケアプランデータ連携の導入促進を。②ペットのマイクロチップ装着の普及啓発と補助対象頭数拡大を。③イベント等でペット緊急連絡カード配布を。④聞き取り困難症の啓発を。⑤ストーマ装具の給付額の増額を。⑥成人歯科健診の訪問診療を。⑦都に広域的な療養介護施設整備の要望を。**【都市整備費・土木費】**①内水氾濫危険箇所に監視カメラ設置を。②アンダーパスに遮断バー設置を。③公共駐車場に自動二輪駐車場所を。④交通空白地域解消に向けデマンドタクシー導入拡充を。⑤大江戸線延伸に伴う新駅に十分な駐輪場確保を。**【教育費】**①ICT教育推進のため端末活用支援と教員へのサポート体制強化を。②ゆとりある給食時間の確保を。③特色ある給食メニューの魅力発信を。④学校プールの新たな運用指針策定を。⑤全校に学校司書の常勤配置を。⑥区立幼稚園の障害児への対応強化を。⑦練馬こども園の低年齢型推進に向け補助拡充と安定運営を。**【こども家庭費】**①ねりっこプラスの安全対策と学童クラブの長期休業中の昼食充実を。②病児・病後児施設への委託料引上げを。③ベビーシッター利用支援事業の利便性向上を。④低年齢保育需要への対応を。⑤練馬こどもカフェの土日開催を。

危機管理意識を高め未来に繋ぐ練馬区を！

練馬区議会国民民主党・無所属・都民ファーストの会（7人）

令和7年度一般会計、各特別会計の認定に賛成。①実効性のある公契約条例の制定を。②コンビニトイレの在り方について意見交換を。③業務でのAI活用で効率化を。④各マンションの課題に合う防災の支援を。⑤止水板設置助成は十分な予算確保を。⑥官民連携で水害時の車両避難場所の確保を。⑦電動キックボードの区内登録を働きかけ、税収確保を。⑧美術館再整備への地域の期待を今後につなげよ。⑨やまなみ公園は子どもの利用も可能に。⑩都やJAと連携し農地保全の取組を。⑪ねりまファミリーパックの対象者とサービス拡充を。⑫喫煙実態に即した条例改正等、対策見直しを。⑬キャッシュレスポイント還元事業は複数決済に。物価高対策は家計負担軽減と中小企業・商店街支援を分けて実施を。⑭アニメ産業の課題の把握と連携強化を。⑮産後ケアは施設数拡大と切れ目ない支援を。⑯成年後見制度利用支援の強化を。⑰介護人材確保に向け幅広い世代への広報を。⑱介護資格取得から就労まで一体的な支援を。⑲災害時に障害者へ確実な情報伝達を。⑳介護業界のイメージアップに向けた情報発信を。㉑次期練馬区障害者計画で手話施策の充実を。㉒失語症者への支援に向け実態把握を。㉓移動支援の報酬単価等への独自支援を。㉔シェアサイクル社会実験終了後の占用料の在り方検討を。㉕自動運転の社会実験を。㉖都と連携した水害対策を。㉗一般緊急輸送道路の沿道耐震化率向上を。㉘平成つつじ公園の早期完成を。㉙練馬城址公園外周道路の拡幅に向け引き続き都と協議を。㉚校外プール授業は移動を考慮した時間設定を。㉛不登校対策は本人に合った支援を。㉜区立幼稚園の要配慮児の受入れ体制強化、職員の専門性向上、私立園との連携による幼児教育の充実を。㉝臨時的任用教員の質の確保とウェルビーイング教育の研修を。㉞第1子保育料無償化による需要分析、みなし保育士の効果検証と人材紹介手数料補助の検討を。㉟待機児童解消に向け時限的な公設保育所設置を含め検討を。㊱子育て施設の設置は利用者の移動に配慮を。㊲児童館以外の中高生の居場所の充実を。㊳幼保小連携強化に向け子ども一人一人の記録の引継ぎを。

豊渓中の統廃合中止の公約をあきらめるな

日本共産党練馬区議団（5人）

2025年度練馬区一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計の4決算の認定に反対する。

本決算は、前区長の下編成、執行された最後の年度の決算。産後ケアの充実や避難拠点へのエアーベッドの備蓄開始等、評価できる施策がある一方、前区政から引き継がれた区民に不利益となる問題がある。

反対理由の第1は、住民が反対する事業をトップダウンで進めたこと。

学校適正配置の名の下に豊渓中学校の統廃合を進めた。保育を必要とする家庭があるにもかかわらず谷原保育園の閉園方針を維持する等、住民要求に背を向けている。

反対理由の第2は、必要性の低い事業に多額の税金を投入しようとしたこと。

美術館再整備では、工事費が76億円から109億円に膨らむ中、負担の全体像を示さず建て替えを進めようとした。また、大泉第二中学校を分断する都市計画道路は必要性と住民生活への影響を検証し、見直すべき。

反対理由の第3は、物価高騰の中、区民に負担を増やそうとしていること。

国保、介護保険、後期高齢者医療保険料の重い負担を軽減する支援が必要。財政調整基金が562億円ある中、未就学児の均等割軽減に必要な年5千万円の負担を拒否している。

私たちは新区長の下、美術館再整備の見直し等、前向きな変化を後押しする。一方、区長が学校統合を進める方針を示したことは選挙公約に反している。谷原保育園の閉園方針を維持し、1年保育による対応を続ける姿勢も問題。

前区政からの問題点は改善を求め、区長選で示された公約の実現に力を尽くす。

「区民の声を聴く区政」の充実に期待
インクルーシブな練馬をめざす会（3人）

4決算に賛成。昨年度は前区長の下での予算が執行された年度であり、その内容については賛同できない部分もあるが、決算審査を通じて見えた課題を、新区長の下、改善・発展させていくことを期待。今後以下の点等に取り組んでいただきたい。

孤立防止対策は相談窓口を設けるだけでは孤独感が強い人ほど相談しづらい。関心を持ちやすいテーマをきっかけに地域とつながり、継続的な参加や相談につながる工夫を。

生活保護は、物価や家賃の上昇等を踏まえ、実態に即した制度となるよう、国に強く見直しを求めるべき。

住まいの支援も、東京の実情に応じた制度設計を国に求めるとともに、区としてもより踏み込んだ支援の検討を。

豊渓中学校の統廃合は、子どもをはじめとする学校関係者・地域住民との対話を重ね、地域にとって納得できる形をともに築くことを期待。

区民の声を聴くことはもちろん、その声を施策に反映し、結果を区民に伝える積み重ねで区民から信頼される区政を。



決算特別委員会

これからの時代は若者重視で！
ねりまこもんず（3人）

令和7年度決算認定に賛成。物価高が長期化し区民生活に影響を及ぼす中、予算執行率は96・4％となり、子ども・高齢者、福祉・医療に特化した執行となった。中小企業や福祉事業者への支援、学校給食や第1子保育料無償化、障害者の生活支援等の施策を評価する。一方、学習障害当事者への支援や不登校対策、包括的性教育等、不足もある。

社会状況の悪影響は、その社会で最も弱い人に及ぶ。特に若者の生活困窮を懸念する。奨学金返済や住居費・教育費等の負担から、結婚や子育てを諦めざるを得ない人も多い。一見、生活が成り立っているようでも、将来への備えができない等「見えにくい困窮」にも目を向ける必要がある。子育て世帯や高齢者への支援に加え、若者を支える政策を区政の重要な柱として位置づけられたい。子どもや若者が未来に期待できる社会をつくることが私たちの責務である。

私たちは各種団体との懇談を通じて得た多様な声を踏まえ、今後も施策の拡充を求めていく。

暮らしと命を守り、区民参画でつくる区政を
練馬区議会立憲民主党（3人）

令和7年度一般会計・特別会計決算の認定に賛成。必要な支援が区民に届いたか検証し、次年度の予算編成と事業運営に反映することを求める。

福祉面では、身寄りのない高齢者の終身サポートの利用者保護と、区の関与強化を。医療的ケア児の学校行事等への参加を支援し、保護者付添いの負担軽減を。児童相談における都区連携と虐待リスクの変化への対応を求める。

防災面では無料耐震診断制度の利用促進、防災まちづくり事業実施地区の木造住宅への感震ブレーカー補助メニュー拡充を。治水対策として雨庭や雨水タンク、透水性舗装等のグリーンインフラ推進を。

さらに美術館再整備の見直しは早期に具体的な道筋を示し、専門家の知見や区民との対話を生かすべき。区報はSNSで培った視覚的ノウハウを生かして抜本的リニューアルを。公園については、花火解禁に続き、ペット同伴利用の制限緩和の検討を。武蔵関公園に子どもや高齢者も利用しやすいペダルボート等の導入と、冬季営業の実施検討を。

あらゆる施策で「対話型区政」の推進を
生活者ネットワーク（2人）

一般会計、3特別会計決算に反対。美術館・貫井図書館の再整備や豊渓中学校の統廃合、都市計画に伴う区内各地のまちづくり等、前区長が編成し、計画ありきで執行した決算を容認できない。

公共施設の無香料化に取り組め。地球温暖化対策は省エネ・創エネ設備設置補助に加え再生可能エネルギーへの切替え補助等も検討を。家賃高騰はあらゆる世代に影響。住まいの総合相談窓口の設置を。障害のある児童生徒への合理的配慮の実践事例を蓄積し学校間で共有、活用を。私立保育所誘致に当たり、園庭設置等子どもの権利の観点から区独自の選定基準を。春日町青少年館改築期間中のねりま若者サポートステーション代替施設の早期確保を。改築後は幅広い若者世代の支援拠点に。

問われる吉田区長の「決断」と「選択」
つながる市民・練馬（1人）

4決算に反対。学校改築経費が急騰、最近では80億円に。国負担金・交付金の見直しを求めよ。早宮区民事務所は駅から遠く、有楽町線沿線区民の利便性に課題。氷川台駅前に移転を。外環の2は石神井公園周辺の自然環境、生態系、景観への影響を懸念。都に保全の働きかけを。前立腺がんは部位別罹患率が最大、65歳過ぎから70代にかけ急増。検診対象年齢の拡大を。昨年度、労働者派遣で学校司書を全校配置したが、4月に22校で交代。直接雇用への移行を。豊渓中統廃合問題で区長が公約をほごにしたことは極めて残念。一人の政治家として責任が厳しく問われることを指摘。

守る。区民の生活、子どもの未来
練馬無所属の会（1人）

令和7年度一般会計・3特別会計決算に賛成。①介護人材の確保・育成・定着は重要な課題。離職率は改善傾向であるが、引き続き区独自の養成研修をはじめ、人材の裾野拡大に取り組まれたい。②区立学校給食は全額税金で賄っていることに鑑み、今まで以上に残菜を減らす取組に注力されたい。③独立システム関連コストの低減のため、AIエージェントの活用を含め、内製化を図られたい。④病児・病後児保育で、予約に至らなかった理由を把握する取組を一部施設で試行されたい。また利用者が空き情報等を即時に把握できるような8施設共通システムを構築されたい。

何をしたかではなく、何が変わったか検証を
練馬区議会無所属（1人）

各会計決算の認定に賛成。決算は、「いくら使い、何を実施したか」だけでなく、「その結果、区民生活がどう変わったのか」までの検証が必要。効果の薄い事業は見直し、財源や人員を必要な分野へ振り向ける。公共施設も、必要性や活用状況を検証し、維持・更新に伴う将来負担を考慮すべき。効果的な活用を。また、将来世代に負担を残さないことも私たちの責任と捉え、行政に成果を求める以上、議会としても決算審査の在り方を改めて考えるべきである。

決算審査で明らかになった課題は現在の行政運営で改善しつつ、令和9年度予算編成につなげるよう求める。

不法滞在、不法就労外国人対策の徹底を！
練馬区議会参政党（1人）

令和7年度決算認定に賛成。①防犯カメラ設置助成検討や在留資格確認の徹底等、不法就労外国人対策に尽力を。②美術館再整備は先送りせず建て替え方針の早期策定を。③光が丘福祉専門学校が実質的に海外人材確保の場である状況を憂慮。日本人の募集に全力を。④危険な解体工事を行うクルド人等下請業者の不法就労確認と元請業者への指導監督徹底を。⑤いのちの授業の包括的性教育をやめ、学習指導要領に準拠した性被害防止教育に特化を。⑥氷川台駅前まちづくりの建物共同化推進を評価。経費の予算化を。⑦発達障害児支援は専門家の知見を保育現場等へ啓発を。

練馬区の明るい未来・住みやすさ守る区政を
練馬区議会日本維新の会（1人）

令和7年度決算認定に賛成。①必要な家庭に夏休みの食事・居場所支援を。②仕事と介護の両立に向けた家族介護者支援の強化を。③吸う人・吸わない人双方の環境を守るため、密閉型等の公設喫煙所設置を。④教員の負担軽減に向け、現場ニーズを踏まえた学校支援人材の柔軟な活用を。⑤若者・現役世代を含む全世代への特殊詐欺対策強化を。⑥補助133号線整備を契機に、中村橋駅周辺まちづくりの推進とバス交通改善を。⑦豊渓中統廃合は区長自身による説明と、地域・保護者との対話継続を。⑧子ども性暴力防止法施行に向け、関係事業者が円滑に対応できるよう支援を。

※1 GovTech東京…都と区市町村を含めた東京全体のDXを効果的に推進するために設立された一般財団法人

※2 PMH…Public Medical Hubの略。自治体や医療機関、対象者間で情報を連携するシステムのこと。

＊議員数は構成人数（自民党は議長を除いた人数）